

授業科目

応用機能解剖学特論

担当教員名 鈴木 了、奈良 貴史	対象学年	1	対象学科	保健学
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

筋骨格系の機能を構造面から实际的に理解し、それに関連する神経系の特徴、実際に存在する構造の変異等を通じ身体構造をより実践的に理解、習得する。

授業の目的

筋骨格系および神経系を基本構造、運動原理、例外等を総合的に理解すると共に、それらを基にした運動、治療等への応用を考察し、それを他者に論理立てて説明できるまで習熟する。

学習目標

1. 解剖学および運動学の基礎および用語を理解し、それらを使用して説明できる
2. 体幹のおよび体肢の骨格および靭帯、関節構造を領域毎に理解し、且つそれらを包括的に説明できる
3. 全身の骨格筋の特徴および機能を理解し、実際の動作と関連して説明できる
4. 末梢神経の走行、分布、分節を理解し、その発生、骨格筋の神経支配、臨床症状と合わせて説明できる
5. 神経および筋に変異が存在することを理解し、その際の考えられる臨床症状を説明できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	担当教員
1	機能解剖学概論、解剖学の基礎	奈良 貴史
2	応用骨学－骨格、関節、靭帯の関連と機能	奈良 貴史
3	股関節の機能解剖1－骨格系	鈴木 了
4	股関節の機能解剖2－筋系	鈴木 了
5	膝関節の機能解剖－骨格系	鈴木 了
6	膝関節の機能解剖－筋系	鈴木 了
7	足関節・足部の機能解剖－骨格系	鈴木 了
8	足関節・足部の機能解剖－筋系	鈴木 了
9	体幹の機能解剖－骨格系	鈴木 了
10	体幹の機能解剖－筋系	鈴木 了
11	上肢帯・肩関節の機能解剖－骨格系	鈴木 了
12	上肢帯・肩関節の機能解剖－筋系	鈴木 了
13	前腕の機能解剖	鈴木 了
14	末梢神経系の解剖－筋の神経支配	鈴木 了
15	末梢神経系の解剖－その他 末梢神経、自律神経系	鈴木 了

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	カパンディ 関節の生理学 1～3	A.I.Kapandji 著、塩田 悦仁 訳	医歯薬出版株式会社	2008年		
	解剖学アトラス	V.W.Kahle、H.Leonhardt、W.Platzer	文光堂	1990年	10,000円+税	
	日本人体解剖学(上下巻)	金子 丑之助	南山堂	2000年		
	図解 関節・運動器の機能解剖(上肢・脊柱編, 下肢編)	J.Castaing、J.J.Santini	協同医書出版社	1986年		
	新 動きの解剖学	ブランディーヌ・カレ-ジェルマン	科学新聞社出版	2009年	6,000円+税	

評価方法

態度，試験結果等を評価

履修上の留意点

進行、順番、担当は変更される事があります。なお教科書は設定しません。毎回資料を配布し、それを元に講義を行います。参考書に関しては図書館を有効に利用し、必要に応じて購入を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

- 昼休み（12：30～13：00）
- その他在室時で対応可能な場合
- ※E217まで来て下さい（鈴木）